特定開発事業温暖化対策計画書の概要一覧

【令和３年度】

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要：特定開発事業を行う区域の面積（㎡）	予定建築物の概要：棟番号	予定建築物の概要：用途	予定建築物の概要：延べ面積（㎡）	予定建築物の概要：備考	温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容：エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※１：太陽光発電	太陽光発電：定格出力（kw）	太陽熱利用	風力発電	バイオマス発電・熱利用	水力発電	温度差熱利用	その他：潜熱回収型給湯器	その他：ＬＥＤ照明設備	その他：ヒートポンプ給湯器	その他：その他設備※２	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の結果	工事の着手予定年月日	工事の完了予定年月日	届出の状況：変更届：変更(予定)年月日及び変更事項※３	届出の状況：完了届等：完了（中止）年月日
001	厚木下依知開発計画	厚木市下依知字中河原651番地先一帯	信濃運輸株式会社　代表取締役　林　俊彦 共進運輸株式会社　代表取締役　山下　茂 KIC厚木特定目的会社　取締役　細谷　晋一郎	施設利用予定者である共進運輸株式会社と信濃運輸株式会社が、現在、県内3ヶ所の配送センターで行っている配送事業が非効率となっているため、３ヶ所の施設を集約し物流業務の効率化を図るため、KIC厚木特定目的会社が土地建物の所有者となり物流倉庫を建設する。	11,961.53	1	倉庫	10,366.31	鉄骨造 地上3階 建築面積5,406.57 ㎡	・照明は原則としてLED照明を設置した。 ・新設建物の長寿命化を図るため、塗装鋼板断熱材サンドイッチパネルを使用した。 ・冷蔵冷凍施設の効率を上げるため、塗装鋼板断熱材サンドイッチパネルを使用し、建築物の断熱化をした。	・神奈川県土地利用調整条例で定められている緑化基準25%を超える緑化をした。（緑地面積3659.0㎡、緑化率30.5%） ・冷蔵冷凍施設の効率を上げるため、高断熱の設備を使用し、建築物の断熱化をした。（再掲）	・駐車場、駐輪場を設置した。 ・最寄り駅からのシャトルバスを導入した。	・自然環境保全条例第22条に基づく「みどりの協定実施要綱」により、みどりの協定を締結し、必要とする基準を満たす緑地を設置した。 ・開発区域から近隣への騒音等を低減するため、外周に緑地帯を設置した。 ・神奈川県土地利用調整条例で定められている緑化基準25%を超える緑化をした。(緑地面積3659.0㎡、緑化率30.5%)（再掲）	・アイドリングストップを徹底した。 ・建設廃材は、建設リサイクル法等に従い建設廃材の抑制をした。	△		△						●		△コージェネ	棟番号1 ・総合評価★★B-以上 ・地球温暖化への配慮　ライフサイクルCO2排出率　80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和　スコア2.5以上	棟番号1 ・総合評価★★★★A ・地球温暖化への配慮　ライフサイクルCO2排出率　81% ・ヒートアイランド現象の緩和　スコア3.0	2021/7/1	2022/12/31	2022/10/17 延床面積	2022/10/17
						合計		10,366.31																							
002	（仮称）KICONA相模原店Ⅱ新築工事	相模原市中央区東淵野辺4丁目2209番448外	株式会社アンダーウッド 代表取締役　木下　正子	遊技場の建設のため。	14,161.53	1	駐車場 遊技場	18,632.81	建築面積：5,927.73㎡ 鉄骨造 地上5階建て	・熱源設備において、ヒートポンプ利用設備を導入した (ヒートポンプ冷暖房を導入) ・予定建築物と外灯において高効率な照明設備を導入した (LED照明を導入) ・予定建築物において有効な自然採光を確保した ・予定建築物の断熱化を図った（風除室、外壁断熱）	・自治体等が定める制度・基準等を踏まえた、開発区域内の緑化を図った（相模原市開発事業基準条例で定められている緑化基準10%を超える） ・予定建築物の断熱化を図った（風除室、外壁断熱）（再掲） ・開発区域内の舗装面積の最小化を図った ・自治体等が定める制度・基準等に基づき、既存の樹木、緑地の保全を図った	・事業の目的・用途に応じ、必要な駐輪場を整備した ・歩行者が安全に通行できる歩道を整備した (敷地内に歩道状空地を設置) ・開発区域内の走行ルートを指定した ・予定建築物において荷捌き場を確保した	・自治体等が定める制度・基準等を踏まえた、開発区域内の緑化を図った（相模原市開発事業基準条例で定められている緑化基準10%を超える）（再掲）	・建設資材の調達において、輸送距離の最小化や効率的な輸送を図った ・車両、重機のアイドリングストップの推進等、省エネルギー運転を実施した ・建設機械（車両、重機等）を適正整備した （エンジンの点検整備、タイヤ等の点検整備）	△		△						●		△コージェネ ●高効率空調設備	棟番号1 ・総合評価★★B-以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率100%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和　スコア2.5以上	棟番号1 ・総合評価★★B- ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率98% ・ヒートアイランド現象の緩和　スコア2.0	2021/7/1	2022/5/31	2022/5/11 開発事業者	2022/5/27
						合計		18,632.81																							
003	三井不動産ロジスティクスパーク海老名Ⅰ　新築工事	海老名市中新田字三番河原3290番12　他191筆	三井不動産株式会社　代表取締役社長　菰田　正信	倉庫業を営む倉庫の建設	56,543.37	1	倉庫	121,920.20	鉄骨造（免震構造） 地上6階 建築面積25,577.82㎡	・太陽光発電設備（定格出力2,012.8kW）を設置した。 ・事務室において、ハイサッシを採用することにより、自然採光を活用した。 ・倉庫棟の外壁材に断熱性の高い断熱サンドイッチパネル（ロックウールt=50充填）を採用した。 ・倉庫棟の屋根材として断熱性の高いガルバリウム鋼板折板二重葺　断熱工法（グラスウールt=100充填）を採用した。 ・事務室において開閉可能な窓を採用することにより、自然換気を活用した。 ・事務所エリアのガラスにLow-E 複層ガラスを採用した。 ・日射遮蔽を目的として、事務室の開口部に庇、緑のカーテンおよびタテ型ルーバーを設置した。 ・倉庫棟の空調設備として、地中熱ヒートポンプエアコンを採用した。 ・倉庫棟の効率的な冷暖房を実現するために、全熱交換機を設置した。 ・倉庫棟、南守衛所、北守衛所の照明器具は全てLEDとした。	・倉庫棟の外壁材に断熱性の高い断熱サンドイッチパネル（ロックウールt=50充填）を採用した。（再掲） ・倉庫棟の屋根材として断熱性の高いガルバリウム鋼板折板二重葺断熱工法（グラスウールt=100充填）を採用した。（再掲） ・事務所エリアのガラスにLow-E複層ガラスを採用した。（再掲） ・日射遮蔽を目的として、事務室の開口部に庇および緑のカーテンを設置した。（再掲） ・事務室において開閉可能な窓を採用することにより、自然換気を活用した。（再掲） ・神奈川県および海老名市の条例に基づいて、緑化基準20%の豊かな緑地を確保し、周辺環境向上に寄与した。（緑化面積11422.79㎡、緑化率20.20%） ・地被類を積極的に植栽した。 ・中高木の緑地により日陰を形成した。 ・倉庫棟の空調室外機を排熱が拡散しやすい配置とし、気流シミュレーションにより、排熱のショートサーキットの防止を図った。 ・建物の平面形状をできるだけ正方形に近く、南北方向の建物長さを短くすることで、相模川側からの風の通り道を確保した。	・敷地内に必要な台数の大型車待機場、乗用車駐車場、トラックバース、原付駐車場を整備し、周辺交通負荷の抑制を図った。 ・敷地の歩行者入口から建物エントランスまで、歩行者が安全に通行できる歩道を整備した。 ・敷地内のスムーズな交通流に配慮して、物流車両動線については、一方通行とした。 ・建家内に荷捌きスペース（倉庫の一部）を確保した。 ・必要台数の自転車駐車場を整備して、自転車利用を促進し、周辺交通負荷の抑制を図った。 ・交通計画により周辺交通への影響を確認した。 ・複数テナントの入居が可能な施設とした。	・神奈川県および海老名市の条例に基づいて、緑化基準20%の豊かな緑地を確保し、周辺環境向上に寄与した。(緑化面積11422.79㎡、緑化率20.20%)(再掲) ・みどりの協定を締結し、緑地の保全を図った。 ・敷地の周囲にはできる限り緑地帯を配置した。 ・屋上緑化を行った。 ・近隣の植栽の生育状況を調査し、海老名の自然植生・隣地の海老名運動公園の緑との連続性に配慮した樹林とした。 ・裸地、造成法面の緑化を図った。	・共用部分のビニル床材、タイルカーペット、ボードにリサイクル資材を採用した。 ・アスファルト舗装の路盤材として、再生砕石を採用できるようにした。 ・鉄骨造の建家ではあるが、高降伏点鋼の採用により鋼材使用量を削減することで、製鉄工程におけるCO2排出量を削減した。 ・建設残土を敷地内に敷均し、場外搬出処分をゼロとすることで、土砂搬出車両からのCO2排出量をゼロとした。 ・神奈川県条例に基づいて、アイドリングストップを推進した。 ・建設機械（車両、重機等）を適正整備した。	●	2,012.80	△						●		△コージェネ ●高効率空調設備	棟番号1 ・総合評価★★★★A ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率50% ・ヒートアイランド現象の緩和スコア3.5	棟番号1 ・総合評価★★★★A ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率50% ・ヒートアイランド現象の緩和スコア3.5	2021/5/6	2022/9/30		2022/8/21
						2	喫煙所	7.82	アルミニウム合金造 地上1階 建築面積4.69㎡																						
						3	自転車置場１	88.52	アルミニウム合金造 地上1階 建築面積88.52㎡																						
						4	自転車置場２	33.32	アルミニウム合金造 地上1階 建築面積33.32㎡																						
						5	原付駐車場１	62.62	アルミニウム合金造 地上1階 建築面積62.62㎡																						
						6	原付駐車場２	62.62	アルミニウム合金造 地上1階 建築面積62.62㎡																						
						7	南守衛所	2.72	鉄骨造 地上1階 建築面積2.72㎡																						
						8	北守衛所	2.72	鉄骨造 地上1階 建築面積2.72㎡																						
						合計		122,180.54																							
004	（仮称）大和物流株式会社海老名物流センター2	海老名市社家字嵯峨野274-1　外19筆	大和物流株式会社　代表取締役　木下　健治	当該地域における物流拠点の集約化に伴う効率化、及び市、県の条例規定に伴う公共緑地、外周緑地帯の整備等により、周辺環境にも調和した物流倉庫を建設する。	15,342.80	1	倉庫	14,777.00	鉄骨造 地上2階 建築面積 7,893.90㎡	・自然換気、自然採光を利用する建築設計とした。（倉庫内への採光窓設置や営業時間中オーバースライダー等の開口部開放。また、事務所エリアへの引違い窓等の設置） ・風除室を設置し、建築物の断熱化を図った。	・海老名市まちづくり条例、及び神奈川県みどりの協定に定められている緑化基準25%を超える緑化を図った（25.32%、3,884.92㎡）。	・駐車場を設置した。 ・荷捌場（大庇下・トラックバース）を確保した。 ・歩行者が安全に通行できるよう、車道・歩道間のマウントアップを図った。	・敷地外周沿いに緩衝緑地帯を設置した。 ・海老名市まちづくり条例、及び神奈川県みどりの協定に定められている緑化基準25%を超える緑化を図った（25.32%、3,884.92㎡）。（再掲）	・アイドリングストップを励行した。 ・製造/廃棄時にCO2排出量の少ない資材の利用として、環境ラベルのついた建設資材等の使用、再生資材の使用及び建設廃棄物の再資源化の促進を図った。	△		△						●		△コージェネ	棟番号1 ・総合評価★★B-以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率― ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.5以上	棟番号1 ・総合評価★★B- ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率― ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.5	2020/7/3	2021/4/19		2021/4/19
						合計		14,777.00																							
005	（仮称）戸塚区吉田町計画新築工事	横浜市戸塚区吉田町1482番の1番地　外4筆	1, 西日本鉄道株式会社　住宅事業本部　首都圏事業部長　重水 徹 2, 三菱地所レジデンス株式会社　第二計画部長　浦手　健司 3, 大林新星和不動産株式会社　 代表取締役社長　蛭間 基夫 4, 大和地所レジデンス株式会社　代表取締役社長　下村　俊二 5, 静岡鉄道株式会社　代表取締役　川井 敏行 6, 総合地所株式会社　代表取締役社長　関岡　桂二郎	共同住宅の新築のため	27320.02	1	共同住宅(A敷地)	12,425.87	RC造 地上11階(157戸) 建築面積1,882.65㎡	・高効率な給湯設備(ガス潜熱回収型給湯器)を導入する。 ・熱源設備において、ヒートポンプ利用設備(空冷ヒートポンプ式エアコン)を導入する。 ・効率的なエネルギー利用の制御システムとして共用部照明設備はタイマー及びセンサーを導入する。 ・LED照明設備を導入する。	・横浜市緑の環境をつくり育てる条例に基づいて敷地東側の既存の樹木(シラカシやイヌシデ、ミズキなど)を保全すると共に、東側斜面に協定緑地を設定（協定緑地面積：3,542.39㎡） ・横浜市緑化地域に関する条例に基づく緑化地域制度に基づいて、緑化基準敷地面積の10%以上の緑化を行う。（5,154.47㎡、　緑化率:18.86%） ・屋外機前に十分な解放スペースを確保する。 ・透水性のあるアスファルト舗装の採用を予定する。 ・各住棟十分な隣棟間隔、敷地境界から離れた位置で計画し風の通り道を確保する。	・駐車場(272台)・駐輪場(781台)　バイク置場(40台)を設置予定。 ・居住者用シャトルバスを導入予定 ・横浜市福祉のまちづくり条例に適合した動線計画とし、歩きやすく快適な歩道を整備している。	・敷地東側の既存の樹木（シラカシやイヌシデ、ミズキなど）を保全すると共に、東側斜面に協定緑地を設定。（協定緑地面積：3634.94㎡）（再掲） ・(横浜市緑化地域に関するに基づく)緑化地域制度に基づいて、緑化基準敷地面積の10%以上の緑化を行う。（5,154.47㎡、　緑化率:18.86%）（再掲）	・アイドリングストップを励行する。 ・敷地外からの土砂の搬入を抑えるため、掘削残土の再利用を敷地内で行う。	△		△					●	●		△コージェネ ●高効率空調設備	・棟番号1～3総合評価　★★★★Aランク		2021/11/30	2025/7/31		
						2	共同住宅(B敷地)	14,567.09	RC造 地上11階(170戸) 建築面積1,858.66㎡																						
						3	共同住宅(C敷地)	13,545.16	RC造 地上11階(172戸) 建築面積1,987.78㎡																						
						4	電気室	37.50	RC造 地上1階 建築面積 38.79㎡																						
						5	ポンプ室	16.00	RC造 地上1階 建築面積16.00㎡																						
						6	バイク置場	85.12	S造 地上1階 建築面積85.35㎡																						
						7	駐輪場	845.78	S造 地上1階 建築面積543.38㎡																						
						合計		41,522.52																							
006	（仮称）ロジクロス座間計画	座間市栗原字東原４９３の５	座間デベロップメント特定目的会社　取締役　菊池省吾 ENEOS不動産株式会社　代表取締役社長　丹羽　逸夫	倉庫（倉庫業を営む倉庫）の新築	83444.71	1	倉庫	176,441.32	鉄骨造 地上5階、塔屋1階 建築面積37,103.063㎡	・予定建築物において、LEDを導入した ・高効率な冷暖房設備（全熱交換器）を導入した ・予定建築物に風除室を採用し、断熱化を行った ・建築物に対する日射遮へいを図っている（高木）	・開発区域内を自然被覆化した（敷地外周部への緑化の実施） ・座間市開発等事業指導要綱で定められている緑化基準20%を超える緑化を行った（21.01%、17003.41㎡）	・事業の目的・用途に応じ、必要な駐輪場を整備した ・事業の目的・用途に応じ、必要な駐車スペースを確保した ・開発区域内の走行ルートを指定した（トラックについて進入と退出を別々にして周辺交通へ配慮した動線とした）	・座間市開発等事業指導要綱で定められている緑化基準20%を超える緑化を図った（21.01%、17003.41㎡）（再掲） ・開発事業によって生じた緑地に在来種（シラカシ・アラカシ等）を取入れた	・低燃費型建設機械を積極的に採用した ・車両、重機のアイドリングストップの推進等、省エネルギー運転を実施した	△		△						●		△コージェネ	棟番号1 ・総合評価★★B-以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率75%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和　スコア2.5以上	棟番号1 ・総合評価★★★★A ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率76% ・ヒートアイランド現象の緩和　スコア3.0	2022/2/1	2023/11/30	2022/3/31 開発事業者 2023/11/1 棟番号 延べ面積 建築面積 措置の内容	2023/11/9
						2,3	危険物倉庫	1,734.60	鉄骨造 地上1階 建築面積853.6㎡																						
						4,5	消火設備室	57.6	鉄骨造 地上1階 建築面積28.8㎡																						
						6	フォークリフト格納庫	67.25	鉄骨造 地上1階 建築面積67.25㎡																						
						7,8,9	駐輪場	91.83	鉄骨造 地上1階 建築面積15.313㎡																						
						10,11,12,13	バイク置場	146.84	鉄骨造 地上1階 建築面積21.417㎡																						
						14,15	守衛所	6.16	亜鉛鋼板ユニット造 地上1階 建築面積3.08㎡																						
						合計		178,545.60																							
007	県営二宮団地建替事業	中郡二宮町百合が丘三丁目８２番１	神奈川県　神奈川県知事　黒岩　祐治	既存の県営共同住宅の建替え	11714.38	1	共同住宅	1,691.13	建築面積：715.19㎡ 構　　造：ＲＣ造 地上５階	・共同住宅では、空調設備に代わり、冷房負担低減に有効な自然通風を導入している。 ・外部や共用部・各住戸で使用する照明器具は積極的にＬＥＤ照明とする。 ・高効率な給湯設備(ガス瞬間給湯器（潜熱回収型）)を導入している。	・二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例で定められている緑化基準10%、及び県有施設の緑地率確保に関する実施要綱により定められている緑化基準15%を超える緑化を図る。（緑化面積2,150.12㎡、緑化率18.35%） ・室外機周囲に適切なスペースを確保し、排熱のショートサーキットの防止等を図っている。 ・構内歩廊に透水性の高い舗装材を利用している。 ・構内歩廊をピロティで連続させることで、風の通り道を確保している。	・敷地内に駐車場 53台・駐輪場 106台を設置する。 ・構内歩廊はカラー舗装で整備し、歩きやすく快適な歩道を整備している。 ・構内歩廊に透水性の高い舗装材を利用している(再掲)	・二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例で定められている緑化基準10%、及び県有施設の緑地率確保に関する実施要綱により定められている緑化基準 15%を超える緑化を図る。（緑化面積2,150.12㎡、緑化率18.35%）（再掲） ・開発事業によって生じた裸地・造成法面において在来種(タマリュウなど)を選んで緑化を図っている	・環境ラベルのついた建設資材等の積極的な利用を図る。 ・低燃費型建設機械の積極的な利用を図る。 ・アイドリングストップ等の省エネ運転・機械操作を徹底する。	△		△						●		△コージェネ			2022/4/1	2026/6/30		
						2	共同住宅	1,687.19	建築面積：715.19㎡ 構　　造：ＲＣ造 地上５階																						
						3	共同住宅	1,847.51	建築面積：786.71㎡ 構　　造：ＲＣ造 地上５階																						
						4	共同住宅	1,847.51	建築面積：786.71㎡ 構　　造：ＲＣ造 地上５階																						
						駐輪場1～8	駐輪場	129.84	駐輪場１：建築面積4.47　構造S造　平屋建 駐輪場２：建築面積5.50　構造S造　平屋建 駐輪場３：建築面積6.53　構造S造　平屋建 駐輪場４：建築面積6.53　構造S造　平屋建 駐輪場５：建築面積6.53　構造S造　平屋建 駐輪場６：建築面積8.25　構造S造　平屋建 駐輪場７：建築面積6.53　構造S造　平屋建 駐輪場８：建築面積8.25　構造S造　平屋建																						
						合計		7,203.18																							

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発の概要					温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1										特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の結果	工事の着手予定年月日	工事の完了予定年月日	届出の状況	
					特定開発事業を行う区域の面積（㎡）	予定建築物の概要				エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	太陽光発電		その他										変更届	完了届等
						棟番号	用途	延べ面積（㎡）	備考						定格出力（kw）	太陽熱利用	風力発電	バイオマス発電・熱利用	水力発電	温度差熱利用	潜熱回収型給湯器	LED照明設備	ヒートポンプ給湯器	その他設備※2					変更(予定)年月日及び変更事項※3	完了(中止)年月日
008	オリックス不動産(仮称)厚木豆ロジスティクスセンター新築工事	愛川町中津字桜台4025番１他４筆	オリックス不動産株式会社 代表取締役　深谷　敏成	事業用物流倉庫建設の為	75,544.56	1	倉庫	180,598.79	建築面積：32,448.01㎡ 構　　造：RC（柱）+S（梁）造 地上1階	・建屋内及び敷地内照明に積極的にLED照明を導入予定。 ・敷地北東部に電気自動車用充電設備を整備 ・太陽光発電設備を導入する。（定格出力2,306.88ｋW を予定）	・神奈川県みどりの協定に基づく緑化基準（15%）を満たす緑化を図る。 （緑地面積14,914.19㎡、緑化率19.71%） ・緑地等を設置することで空地オープンスペースの連続性に配慮した、風の通り道を確保している	・駐車場（493台）、駐輪場(60台)を整備する。 ・トラックの一時停車スペースを敷地内に確保する。	・神奈川県みどりの協定に基づく緑化基準（15%）を満たす緑化を図る。 （緑地面積14,914.19㎡、緑化率19.71%）（再掲）	・低燃費型建設機械を積極的に採用する。 ・工事関係者にアイドリングストップを励行する。	●	2306.88	△					●	●	△コージェネ ●高効率空調設備	棟番号1 ・総合評価★★★S以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率80%以下		2022/4/1	2024/3/31		
						2	倉庫	994.00	建築面積：994.00㎡ 構　　造：RC造 地上1階																		
						3	守衛所	7.0	建築面積：7.40㎡ 構　　造：RC造 地上1階																		
						4	駐車場１	31.50	建築面積：18.90㎡ 構　　造：S造 地上1階																		
						5	駐車場２	61.50	建築面積：36.90㎡ 構　　造：S造 地上1階																		
						6	バイク置場１	26.50	建築面積：15.90㎡ 構　　造：S造 地上1階																		
						7	バイク置場２	34.00	建築面積：20.40㎡ 構　　造：S造 地上1階																		
						8	バイク置場３	56.50	建築面積：33.90㎡ 構　　造：S造 地上1階																		
						合計		181,809.79																					
009	Landport横浜福浦新築工事	横浜市金沢区福浦3丁目11番2、11番3	野村不動産株式会社　代表取締役社長　松尾　大作	全国的に高まる物流倉庫の需要に伴う、物流倉庫の新築	33,487.96	1	倉庫	43,907.48	建築面積：22,111.09㎡ 構造：S造 地上2階、地下0階	・大規光の導入を予定した。（定格出力：2,609.46kW）（売電） ・高効率な冷暖房設備（全熱交換器）を導入した。 ・全館にLED照明の導入を行った。	・室外機の配列に配慮し、排熱のショートサーキットの防止等を図っている。 ・設備バルコニーを設置することで、熱が拡散しやすい位置で排熱している。また、歩行者動線より上部に間設備を設置し、歩行者空間に配慮した排熱を行っている。 ・屋上緑化を計画すると共に、横浜市開発事業の調整等に関する条例で定められている緑化基準10%を超える緑化を行い、高木・中木・低木等をバランスのよい配置を行った。（緑地面積4,534.64㎡、緑化率13.54%） ・歩行者空間等へ風を導く建築物の配置とした。また、道路等の空地オープンスペースの連続性に配慮し、南北に風の通り道を作った。	・駐車場73台、駐輪場40台を設置した。 ・荷捌き場を確保した。 ・積み段差を設けず、歩きやすく快適な歩道を整備した。	・道路沿いに緑地を設置し、歩行者に配慮した緑化計画とした。 ・屋上緑化を計画すると共に、横浜市開発事業の調整等に関する条例で定められている緑化基準10%を超える緑化を行い、高木・中木・低木等をバランスのよい配置を行った。（緑地面積4,534.64㎡、緑化率13.54%）（再掲）	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・アイドリングストップを省燃費運転を励行した。	◎	2,609.46	△					●		△コージェネ	棟番号1 【参考】 CASBEE横浜による総合評価A以上	棟番号1 【参考】 CASBEE横浜による総合評価A	2022/5/16	2023/9/15	2023/9/6 開発事業者名称 措置の内容	2023/9/7
010	三井不動産ロジスティクスパーク座間	座間市ひばりが丘四丁目5660番地13	座間相模特定目的会社　取締役　三品　貴仙	大型物流倉庫の建設	60,916.32	1	倉庫	134,019.86	建築面積：34795.59㎡ 構造：柱RC　梁S　ランプS 地上4階　塔屋1階	・可動式の窓を導入し、自然通風を確保した。 ・複層ガラス、高効率空調機を導入した。 ・調光式の照明やLED照明を導入した。	・建築物の周囲に緑敷帯、緩衝緑地帯、街路樹を設けた。 ・実側・北側駐車場に緑化ブロックを設けた。 ・座間市開発等指導要綱技術基準で定められている緑化基準(20%)を満たす緑化をした。(12,321.05㎡、20%以上) ・倉庫棟には3Fテラスと屋上に屋上緑化を設けた。	・駐車場170台、駐輪場112台を設置した。 ・東西道路側に出入口を設けることで国道246号線側の車の渋滞発生を避け、周辺地域の交通の安全に配慮している。 ・トラックと乗用車、人の動線を明確に分け、敷地内の安全に配慮している。	・建築物の周囲に植栽帯、緩衝緑地帯、街路樹を設けた。（再掲） ・実側・北側駐車場に緑化ブロックを設けた。（再掲） ・座間市開発等指導要綱技術基準で定められている緑化基準(20%)を満たす緑化をした。(12,321.05㎡、20%以上)（再掲） ・倉庫棟には3Fテラスと屋上に屋上緑化を設けた。（再掲）	・アイドリングストップ等の省エネ運転・機械操作を徹底した。 ・建設機械(車両、重機等)の適正整備を行った。	△		△					●		△コージェネ ●高効率空調設備	倉庫棟 ・総合評価★★★★A以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和　スコア2.5以上	倉庫棟 ・総合評価★★★★A ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率77% ・ヒートアイランド現象の緩和　スコア3.0	2022/6/1	2023/9/30	2023/9/5 開発事業名称 開発事業者 区域の面積 棟番号 用途 延べ面積 構造 階数 建築面積 措置の内容 再エネ活用検討	2023/9/8
						2	守衛所	2.95	建築面積：2.95㎡ 構造：柱S　梁S 地上1階																		
						3	守衛所	49.29	建築面積：49.29㎡ 構造：柱S　梁S 地上1階																		
						合計		134,072.10																					
011	（仮称）横浜戸塚物流施設計画	横浜市戸塚区上矢部町284番11外9筆	横浜戸塚特定目的会社　取締役　稲葉　孝史	本事業は近年増加する物流・倉庫保管業務に対応すべく、マルチテナント型物流倉庫（最大４テナントまで入居可能）の建設を行なうものです。敷地は、横浜内陸部に位置し、横浜新道や国道一号線に近接しており、東名高速道路や圏央道にアクセスしやすく、首都圏及び広域には東日本全域や東海地方へとアクセスできる場所に立地しています。倉庫棟と付属棟（ｵﾌｨｽ・休憩室・備品庫）を建設します	19,072.95	1	倉庫	38,694.00	建築面積：10694.15㎡、鉄骨造 地上4階、地下なし	・倉庫棟は、外壁ALC・屋根二重折板とし外装の断熱化を図った。 ・3棟共に、積極的にLED照明器具を導入した。 ・倉庫用の事務所空調に、全熱交換機を採用した。	・横浜市開発事業の調整等に関する条例に基づき、敷地内緑地において、緑の量の確保について配慮した。 （緑地面積　2902.26㎡、約15%）。 ・歩行者通路を避けて室外機置場を設置した。 ・倉庫棟の原則２階以上に室外機置場を設置した。	・横内道路内の歩行者通路にカラー舗装を採用した。 ・従業員数にあった適切な量の駐車場を設置した。 ・倉庫棟の1・2階に荷卸場を確保した。	・横浜市開発事業の調整等に関する条例に基づき、敷地内緑地において、緑の量の確保について配慮した。 （緑地面積：2902.26㎡、約15%）（再掲） ・開発事業によって生じた盛成法面等の緑化を図った。	・倉庫棟事務所エリアの内装仕上材にリサイクル材（グリーン購入法・エコマーク商品）を採用した。 ・車両・重機のアイドリングストップを励行した。	△		△					●		△コージェネ	棟番号1 （参考） CASBEE横浜による総合評価B+以上	棟番号1 （参考） CASBEE横浜による総合評価A	2022/8/1	2024/2/15	2023/12/8 棟番号 用途 延べ面積 構造 階数 建築面積 措置の内容	2024/1/31

※１　再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果の表記の説明

△：検討を行った設備

●：検討を行い、導入を予定している設備

◎：検討を行い、全量売電するために導入を予定している設備

※２　「再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果」の「その他設備」欄における表記の説明

高効率空調設備：ヒートポンプ技術を用いた高効率の空気調和設備

LPガス自動車：ディーゼル代替LPガス自動車

コージェネ：コージェネレーションシステム（ガスエンジン給湯器及び燃料電池以外で、エネルギー消費効率の高いものに限る。）

EMS：エネルギーマネージメントシステム（エネルギー消費量の計測、記録及び表示並びにエネルギー利用設備の制御を行う機能を有するものに限る。）

※３　「届出状況」の「変更届」欄における変更事項の表記の説明

措置の内容：温室ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容

再エネ活用検討：再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果に変更があった場合

措置及び評価の目標：特定建築物に係る地球温暖化対策の措置及び評価の目標に変更があった場合